漢字の読み書き・蕪村の俳句表現

北海道教育委員会　令和 6 年度公立高等学校入学者選抜　国語

北海道教育委員会　二次利用条件

掲載ページから権利未確認の素材を除去し、出典表紙を追加。

https://www.koukou.hokkaido-c.ed.jp/gakuryokukensa/r06gakuryoku/r06nyuusi_kokugo.pdf

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/SecondaryUse.html

一

次の問いに答えなさい。（配点　25）

問一　(1)、(2)の――線部の読みを書きなさい。

(1)　チームの勝利に貢献する。

(2)　母は諭すように言った。

問二　(1)、(2)の――線部を漢字で書きなさい。

(1)　歴史上の人物にそんけいの念を抱く。

(2)　兄は地元の会社にしゅうしょくした。

問三　次の俳句を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

てらてらと石に日の照(てる)枯野(かれの)かな　　与謝　蕪村

(1)　――線部の表現の技法をⅠ群の**ア**～**エ**から選び、その表現の技法を使っているものをⅡ群の**カ**～**ケ**から一つ選びなさい。

［Ⅰ　群］

ア　擬人法

イ　擬態語

ウ　擬声語

エ　直喩

［Ⅱ　群］

カ　ダイヤモンドのように輝く。

キ　小鳥が美しい声で歌っている。

ク　木の葉がかさこそと鳴る。

ケ　一日中ごろごろして過ごす。